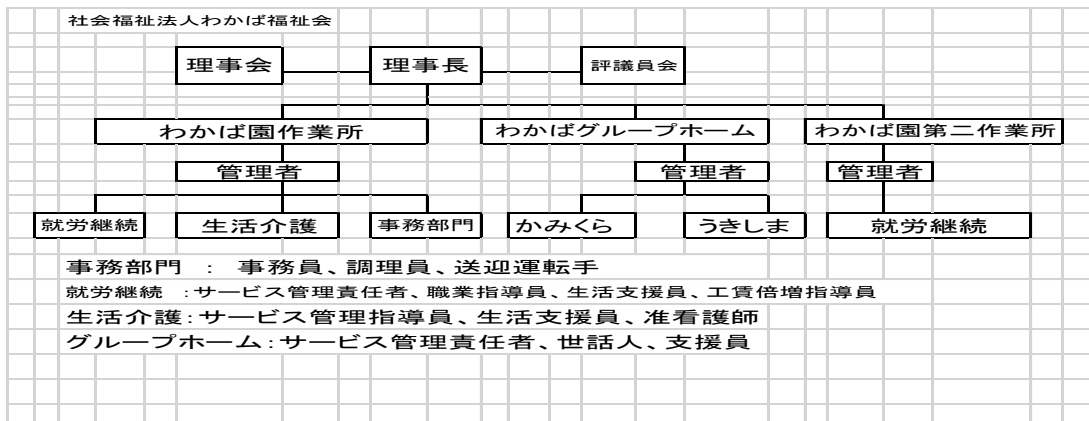


沿革

- 1975年10月 新宮市に施設建設陳情
- 1978年 9月 プレハブで作業開始
指導員2名、利用者7名
ハガキ、名刺印刷、縫製等が主な作業
- 1981年 6月 新宮市新宮に移転（市隣保館の一階を借用）
- 1983年 7月 法人化準備委員会結成。指導員3名体制
- 1987年 利用者18名となる
- 1989年10月 新宮市より障害福祉に功労ありと表彰される
- 1993年 6月 社会福祉法人わかば福祉会設立発起人会発足
- 1994年11月 社会福祉法人わかば福祉会認可
- 1995年 4月 法人施設として発足
- 2003年 4月 定員30名から38名へ
- 2004年 4月 かみくらホーム（グループホーム）開始
- 2010年 4月 国制度のグループホームに移行
- 2010年11月 新体系に移行
生活介護事業 定員16名
就労継続支援B型 定員22名
- 2011年 4月 グループホーム定員10名に増員
- 2015年 1月 わかば園第二作業所開所20名定員
サテライト型ホームを開始（1名）
グループホーム定員11名
- 2017年 2月 グループホーム定員10名

組織図



わかば福祉会の目的

「利用者が個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的とする。」（定款第1条より抜粋）

- 障害者本人、その家族そして地域社会から信頼され、頼りにされた施設であり続けたい。
- 一般就労が困難とされた方でも、本人に就労意欲があり適切な配慮を整えることにより就労が可能な障害者には、社会的に有用な仕事を用意したい。同時に少しでもその価値が認められ、高い収入が得られるようにしたい。
- 就労に従事することが困難な障害者には、散歩や音楽等を通して日中を活動的となるように支援したい。

1)わかば園作業所について

職員体制

生活介護(定員16名) 平成28年度利用実績 12.6人(2月まで) 常勤換算6.2人

職種	氏名	常勤換算	資格	内容
管理者	田邊 純		社会福祉士	リズム体操 音楽活動 クラフト 農作業 アルミ缶回収
サービス管理責任者	田邊 純	1		
生活支援員	立嶋 美佳	1	介護福祉士	
生活支援員	内門 なつほ	1	保育士	
生活支援員	岸野 結子	1	介護福祉士	
生活支援員	堰本 美智代	0.9	介護福祉士	
生活支援員	松田 忠也	0.8		
生活支援員	下川美紀子	0.5	介護福祉士	
生活支援員	谷口 悦子	0.5		
生活支援員	山口 正次	0.4		
看護職員	新谷 加代	0.1	准看護師	健康管理
医師	二村 昭		医師	

就労継続支援B(定員22名) 平成28年度利用実績 14.7人(2月まで) 常勤換算4.9人

職 種	氏 名	常勤換算	資 格・時 間	内 容
管理者	田邊 純	1	社会福祉士	稲作、果樹園芸 外部委託事業 乾燥ひじき製造 清掃
サービス管理責任者	田邊 純			
生活支援員	久保 明美	1	介護福祉士	
目標工賃達成指導員	上地 昌代	1	介護福祉士	
職業指導員	瀬田 幸司	1	介護福祉士	
職業指導員	添谷 嘉紀	0.9		
職業指導員	田ノ下昭子	1	介護福祉士	

共通の職員

職 種	氏 名	常勤換算	内 容
事務主任	西畑 殖夫	0.6	経理・請求等の事務
事務	中島 愛	1	経理・請求等の事務
調理員	榎本 恵一	0.8	献立・調理一般
調理員	藤田 一恵	0.5	調理一般

のびのび班の事業計画(担当 立嶋、内門、堰本、松田、下川、谷口)

- ・ 健康に通所してもらうことを第一に、個々の特性に応じた活動を支援します。
- ・ 集団活動と個別活動、それぞれの良さを生かした活動をするよう支援します。
- ・ 毎日の健康管理として検温・足浴・マッサージ・散歩などを実施します。
体調の変化を迅速に発見できるように週一回の看護職によるバイタルチェック、月一回の体重測定を実施します。
- ・ 音楽活動を通して、達成感及び自己肯定感を感じていただけるように活動していきます。
- ・ 心身のリフレッシュとしてドライブや散歩等、安全に実施する事に努めます。(内門)

農耕・リサイクル班の事業計画(担当 岸野、山口)

- ・ 野菜栽培
昨年は新しい野菜にもチャレンジしました。生姜と里芋です。
そのほかは毎年の定番の大根、かぶ、人参、さつまいも、インゲン、ピーマンなどでした。今年度は新しくマンガンとシシトウを作りに挑戦します。
- ・ 八朔
3月10日に井田の畑に50本のはっさくの苗を植えました。
そのうちの10本は紅八朔を植えました。
収穫までには5年ほど先になる様ですが これからはっさく畑の水やり、草刈りなど

管理をしっかりとしていきます。

- ・ アルミ缶

アルミ缶回収は単価が下がり なかなか収入が上がリません。回収の量も前年度に比べると減少しています。私たちも利用者と一緒にあちこちでアルミ缶の箱を見かけるとわかば園で回収させて頂けないかをお願いしていますが 取りに来る人がいるとの事でなかなか新規の回収先も見付けにくい状況です。

昨年度はみんなで作りの看板を描いて軽トラに装着しましたが、あまり効果はありませんでした。アルミ缶回収は、農耕班の大きな収入源なので、今後も宣伝の方法を工夫していきたいと思います。(岸野)

ひじき・掃除・栽培（担当 久保、瀬田、上地、添谷、田ノ下）

- ・ 全国生産活動に参加して施設やお店などに関わりを持ち交流をはかる。
- ・ 営業では、引き続きスーパーなどに商談を持ち掛け販路を増やしていく。
- ・ 座った状態での作業が続くので利用者さんの体調管理、衛生面に注意して加工、作業できるように支援します。(久保)

- ・ 田んぼ作りをする。

田んぼの周囲を囲む電柵周りは、定期的に除草作業し、漏電を防ぐ。

収穫量は、例年とおり1600Kgを目標

- ・ 除草作業や片付け作業をする。

☆新宮市から委託を受けて【新宮港 年間2回】除草作業と片づけ作業をする。

☆定期的に依頼を受けている場所【新宮市・那智勝浦町・南牟婁郡内と熊野市】の除草作業

☆日々の活動を通して、社会に役立っていることを自覚させながら明るく・楽しくお互い協調して活動して行く。(岡本)

- ・ 県庁舎の掃除

園から庁舎への道中は、皆そろって歩く。

作業中も事故など無いよう安全確認に気を付ける。

- ・ 杉の郷の掃除

施設の利用者さんとトラブルなく作業をする。

トラブルがあった場合は早めに解決する。

衛生面に気を付けて作業する。(上地)

職員の役割分担

役割	担当職員
----	------

諸記録	田邊 純
後援会・保護者会	田邊 純
利用者の自治会・給食会議	立嶋 美佳
健康診断・衛生推進員	中島 愛
防災訓練・災害対策	瀬田 幸司
施設整備・管理	西畑 殖夫・中島 愛
ホームページ	久保 明美
たより発行	瀬田 幸司
職員研修	田邊 純
虐待防止担当職員・人権擁護	久保 明美
送迎	内門 なつほ
事務全般	西畑 殖夫・中島 愛
給食全般	榎本 恵一・藤田 一恵
自立支援協議会・就労部会	瀬田 幸司

職 員 研 修 計 画

内 容	参 加 者
虐待防止研修	全員
人権研修	全員
就労技術研修	就労担当職員
サービス管理責任者養成	該当職員
グループホーム研修会	世話人・支援員
請求等事務一般	事務職員
レクレーション・音楽等	生活介護担当職員
衛生・給食	厨房職員
事例・作業工程研究会	現場職員全員
資格取得（福祉士等）	該当職員

上記以外にも職員からの積極的な研修への申し入れについては、内容を吟味した上で参加させる予定です。

行 事 担 当 職 員

内 容	日 程	担 当 職 員
つくしんぼ歌謡祭	5月13日	岸野 結子

害虫駆除	7月14日	中島 愛
夏の大掃除	7月15日	上地 昌代
交流スポーツ大会	9月23日	岸野 結子
冬の大掃除	12月29日	上地 昌代
各バザー	年間5回程度	各チームの担当者
各チームでの行事	年間数回	各チームの担当者

2) わかばグループホーム

二つのグループホームを市内浮島地区と神倉地区で運営します。運営形態としては一体として行います。

かみくらホーム	新宮市千穂1-3-18	定員2名
うきしまホーム	新宮市浮島3-10	定員7名
恒和荘	新宮市新宮1019	定員1名

事業内容 共同生活援助

職員配置基準 世話人2.6人、支援員1.1人

職 種	氏 名	常勤換算	勤務形態	内 容
管理者	岡本 正	介護福祉士	常勤・兼務	障害者が地域で生活していく上での生活全般における支援を行う。
サービス管理責任者	岡本 正	0.1	常勤・兼務	
世話人	岡本 正	0.9	常勤・兼務	
世話人	高見澤千恵子	0.5	常勤・専従	
世話人	阪口 雅與	0.6	非常勤・専従	
世話人	森 操	0.6	非常勤・専従	
支援員	奥 百合子	0.3	非常勤・専従	
支援員	橋爪有紀子	0.2	非常勤・専従	
支援員	宮本 実	0.2	非常勤・専従	
支援員	柏木 逸子	0.4	非常勤・専従	

ホームでの支援目標

1. 自立と自律を尊重した生活を一人ひとりの入居者が送ることができるよう支援します。
2. 24時間365日体制の支援を行います。
3. 排泄や食事摂取等に介護を必要とする障害の重い入居者のグループホームでの地域生活の支援体制を確立に努めます。また、地域の自治会活動にも参加し、地

域住民との強固な関係構築に努めます。

4. 季節を感じることでできる行事等も取り入れて休日等過ごし方も支援します。
5. 入居者の家族とは、協力し合い入居者の安定した生活を支援します。
5. 昨年に引き続き、サテライト型援助を行います。

3) わかば園第二作業所について

職員体制

就労継続支援B(定員20名) 平成27年度利用実績12.3人(2月まで) 常勤換算3人

職 種	氏 名	常勤換算	資 格	内 容
サビ管・管理者	中西 浩永	1	介護福祉士	卒塔婆・装束・護摩木・布きん等の製造
職業指導員	堀池 龍司	1	介護福祉士	
生活支援員	鈴木 弘美	1	介護福祉士	
目標工賃達成指導員	中野友妃子	1		

工芸班の事業計画(担当 中西、鈴木、堀池、中野)

1、29年度の取り組みについて

- ・ 各製品作成数の目標数達成
- ・ 縫製作業の引き継ぎが行える職員体制
- ・ 荒縄作りが行える利用者の育成

今までお燈まつりの松明作りを中心となってお亡くなりになった為、我々に求められる松明や荒縄の総数が増えると予想されるため、今年度は前年度以上にお燈祭り物品に力を入れなければならないと思います。松明は代参を含め700本、荒縄は450本を目指します。

目標数

卒塔婆	:	250円	×	28000本	=	7,000,000
松明	:	3000円	×	700本	=	2,100,000
荒縄	:	2500円	×	450本	=	1,125,000
わかば布巾	:	200円	×	1200枚	=	240,000
井上企画布巾	:	60円	×	10000枚	=	600,000

2、29年度の取り組み、目標達成について

- ・利用者が作業しやすいような取り組み
- ・4人体制による木工全般・縫製全般の引き継ぎできる体制作り、分業作業の共有
- ・お燈祭り時期の残業時間の減少
- ・前年度を踏まえた卒塔婆、荒縄、布巾の在庫作り

・新規の販売先の開拓

今年度は職員が増えた事と初年度経験から作業の効率的に行う事ができました。利用者も新しい作業場に慣れ、各作業だけでなく準備や片付け、掃除などを各自が必要に合わせて行う事ができて来ています。作業についても、前年度と比べて卒塔婆在庫を貯める事ができ年末に慌てる事はありませんでしたし、松明作りでも残業時間を減らす事ができ、荒縄作りも目標数を達成する事が出来ました。縫製部についても和歌山県からの布巾注文や、新しく「井上企画」からの下請け布巾作りも始まった事で目標を大きく超える事ができました。

作業は全体的にスムーズに行う事ができましたが、目標の一つであった作業の引継ぎを行える職員を作り、各作業について、引き継ぎを行える体制を作る事については、木工班・縫製班共にあまり進ませる事ができませんでしたので、次年度も引き続き行っていきます。(中西)

職員の役割分担

役割	担当職員
諸記録	中西浩永
利用者の自治会	鈴木弘美
健康管理・衛生推進員	中西浩永
防災訓練・災害対策	中西浩永
施設整備・管理	堀池龍司
職員研修	中西浩永
虐待防止担当職員・人権擁護	中野友妃子
新東施設協議会	中西浩永

職員研修計画

内容	参加者
虐待防止研修	全員
人権研修	全員
就労技術研修	全員
サービス管理責任者養成	該当職員
事例・作業工程研究会	職員全員

上記以外にも職員からの積極的な研修への申し入れについては、内容を吟味した上で参加させる予定です。

行 事 担 当 職 員

内 容	日 程	担当職員
つくしんぼ歌謡祭	5月28日	中野友妃子
害虫駆除	7月15日	中野友妃子
夏の大掃除	7月16日	中野友妃子
夏物品	6月～7月	中西 浩永
バザー（紀宝町港まつり）	10月	堀池 龍司
交流スポーツ大会	9月23日	鈴木 弘美
冬の大掃除	2月	中野友妃子
レクレーション	年間数回	全 員